

**Terms And Conditions
For Accommodation Contracts
Regulations**

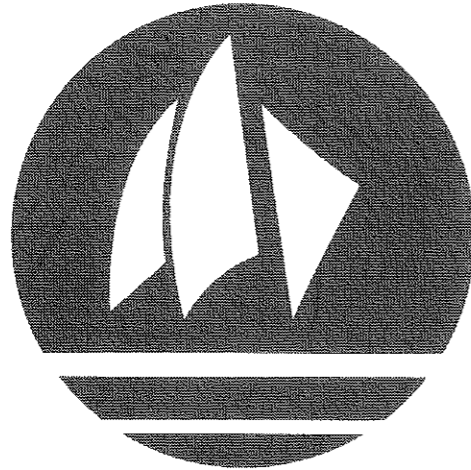
宿泊約款、利用規則

Urayasu Beaufort Hotel Safety System

緊急時の手引き



浦安ビューフォートホテル



このたびは、ご宿泊を賜り、誠にありがとうございます。
 当ホテルは、お客様にごゆっくりお過ごしいただけますよう
 「心のもったおもてなし」に努めております。
 何か、ご要望やお気付の事などがございましたら、
 お気軽に係へお申し付けくださいますようお願い申し上げます。

浦安ビューフォートホテル 総支配人

We are very happy to have you with us. We do our best to provide hearty
 service so that our guests can have a comfortable and pleasant stay.

If you need anything or have any remarks that may
 help improve our service, just let us know.

Thank you.

General Manager

火災を発見したら

直ちにフロントデスク（内線 9）へ通報してください。
 大声で周囲の人にも知らせてください。
 お近くの非常ベルを押してください。

If you should See A Fire... Report It Immediately!

Call the assistant manager immediately (touch 9) to report
 the fire.

Alert all the people nearby.
 Push the nearest fire alarm.

地震が起きたら

窓ガラスから離れて、頭を防護してください。
 タバコの火は消してください。
 電機器具のプラグをはずしてください。
 強度な地震後はホテル側の指示に従ってください。

If An Earthquake Occurs Stay Calm & Follow These Precautions:

Keep away from all windows, keep your head protected.
 Extinguish all cigarettes.
 Turn off all appliances; pull out all electric plugs.

避難するときは

館内放送の指示に従ってください。
 ホテル従業員が安全な場所へ誘導しますので、落ち着
 いて避難してください。避難の際、エレベーターは絶
 対に使用しないでください。
 部屋の鍵を必ずお持ちください。

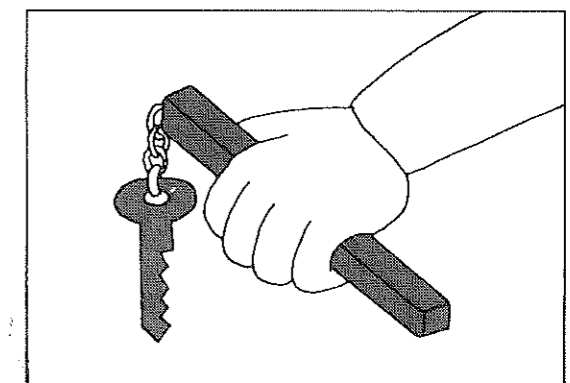
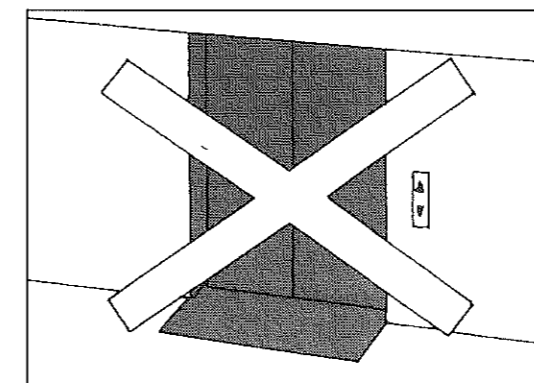
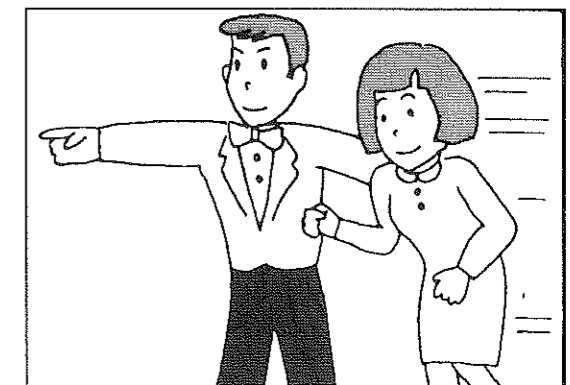
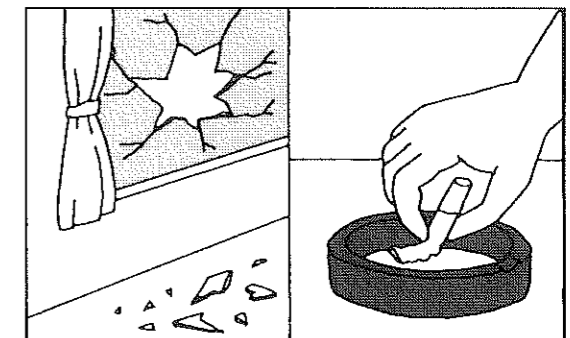
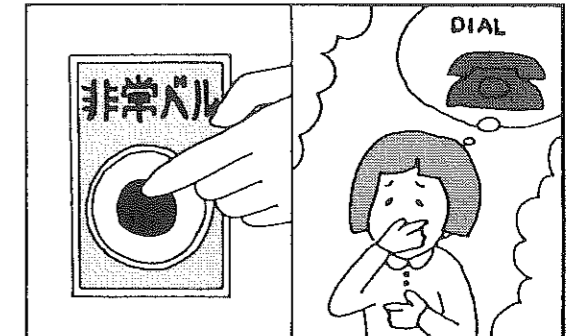
Evacuation Procedures Listen For Instructions

Instruction will be broadcast over the hotel emergency
 announcement system. Please listen and follow the instruc-
 tions carefully.

The hotel personnel will help guide you to safety.

Don't use the elevators during an emergency.

Remember to take your room key before leaving your room.



適用範囲

- 第1条** 1 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとし、
- 2 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとし、

宿泊契約の申込み

- 第2条** 1 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
- (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルはその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

宿泊契約の成立等

- 第3条** 1 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとし、ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明した時は、このかぎりではありません。
- 2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金について賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 4 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は宿泊契約はその効力を失うものとし、ただし、申込書の支払期間を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

申込金の支払いを要しないこととする特約

- 第4条** 1 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 2 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

宿泊契約締結の拒否

- 第5条** 1 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
 - (2) 満室（員）により客室の余裕がないとき。
 - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する

行為をするおそれがあると認められるとき。

- (4) 宿泊しようとする者が、伝染病であると明らかに認められるとき。
- (5) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (6) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

宿泊客の契約解除権

- 第6条**
- 1 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
 - 2 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
 - 3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

当ホテルの契約解除権

- 第7条**
- 1 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
 - (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - (2) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (3) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - (4) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (5) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
 - 2 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

宿泊の登録

- 第8条**
- 1 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
 - (2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - (3) 出発日及び出発予定時刻
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
 - 2 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

客室の使用時間

- 第9条**
- 1 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
 - 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

- (1) 12:00までは、基本室料の10%
- (2) 13:00までは、基本室料の20%
- (3) 14:00以降は、基本室料の100%

利用規則の遵守

- 第10条**
- 1 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

営業時間

- 第11条**
- 1 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等でご案内いたします。
 - (1) フロント等サービス時間：
イ フロントサービス 24時間
 - (2) 飲食等（施設）サービス時間：
イ レストラン「ポルトフィーノ」 朝食 7:00～9:30
 - (3) 立体駐車場 8:00～22:00
- ※ 上記時間帯以外に御利用の場合は、フロントへお尋ね下さい。
- 2 前項の時間は、必要上やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

料金の支払い

- 第12条**
- 1 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。
 - 2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
 - 3 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

当ホテルの責任

- 第13条**
- 1 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
 - 2 当ホテルは、消防機関から適マークを受領しておりますが、万一火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

契約した客室の提供ができないときの取扱い

- 第14条**
- 1 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
 - 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

寄託物等の取扱い

- 第15条** 1 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。
- 2 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

- 第16条** 1 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。
- 2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられている場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
- 3 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に、前項の場合にあつては同条第2項の規定に準じるものとします。

駐車場の責任

- 第17条** 1 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車輛のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車輛の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

宿泊客の責任

- 第18条** 1 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

別表第1 宿泊料金の算定方法（第2条第1項、第3条第2項及び第12条第1項関係）

宿泊客が支払うべき総額	内 訳	税金(イ)の積算
		イ、消 費 税
宿泊料金(1)	① 基本宿泊料(室料) ② 税金 イ、消 費 税	①×5%=イ ①+②+(イ)
追加料金(2)	③ 飲食料金及びその他利用料金	イ、消 費 税 (①+②+③)×5%=イ

別表第2 違約金（第6条第2項関係）

契約申込人数	契約解除の通知をうけた日	不 泊	当 日	前 日	前々日	14 日前
		一般	10名まで	100%	80%	50%
団体	10名～	100%	80%	50%	20%	

- (注) 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を収受します。
3. 団体客(10名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の15日前(その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については、違約金はいただきません。

ホテルの公共性とお客様の安全性を維持するため当ホテルをご利用のお客様には宿泊約款第10条に基づき下記の規則をお守りいただくことになっております。この規則をお守りいただけないときは宿泊のご継続をお断りすることがあります。

記

1. 客室内で暖房用、炊事用の火気及びアイロン等ご使用にならないでください。
2. ベッドの中など火災の原因となりやすい場所で喫煙をなさらないでください。
3. 午後10時以降、客室に訪問客をお招きなさらないでください。
4. ロビーおよび客室内に次のようなものをお持込にならないでください。
 - (イ) 動物、鳥類（ペット等）
 - (ロ) 著しく悪臭を発するもの
 - (ハ) 発火又は引火しやすい火薬や揮発油類及び危険性のある薬品
 - (ニ) 許可証のない銃砲、刀剣等
 - (ホ) 著しく多量の物品
5. ホテル内で、とばく及び風紀を乱すような行為、又は他のお客さまに迷惑をおよぼすような行為はなさらないでください。
6. 了解なく客室やロビーを事務所がわりなどにご使用なさらないでください。
7. 許可なく客室内の現状を変更するような加工をなさらないでください。
8. 館内の諸設備および諸物品についてのお願ひ。
 - (イ) その目的以外の用途にご利用なさらないでください。
 - (ロ) ホテルの外へ持ち出さないでください。
 - (ハ) 他の場所に移動したり加工したりなさらないでください。
9. 廊下やロビーなどに所持品を放置なさらないでください。
10. ホテル内でお客様に広告物を配布するような行動はなさらないでください。
11. ホテル外から飲食物等の出前はなさらないでください。
12. 緊急事態あるいは止むを得ない事情の発しない限り、階段・屋上・塔屋・機械室等客用部分以外の施設内にお立入りなさらないでください。
13. 室内着、スリッパなどのままで、客室からお出になることはなさらないでください。
14. 未成年者のみのご宿泊は、保護者の許可のない限りお断りさせていただきます。
15. 不可抗力以外の理由により建造物、備品その他の物品を損傷、汚染、あるいは紛失させた場合、相当額を弁償していただく事があります。
16. お預かり品の保管期限は、特に指定のない限り、お預かり日より下記のとおりとさせていただきます。
 - (イ) フロント及びクロークルームでのお預かり…………… 1 ヶ月
 - (ロ) ランドリーにご依頼の洗濯物…………… 6 ヶ月
17. お勘定は、5 日毎にお支払いいただきます。ただし 5 日以内でも、ホテルから請求があった時はお支払いいただきます。
18. 小切手にてのお支払い及び両替は堅くお断りさせていただきます。
19. ホテル内売店のお買物代、飛行機・列車・遊覧バス等の切符代、タクシー代、郵便切手代、お荷物送料等のお立替えはお断りさせていただきます。

SCOPE OF APPLICATION

Article 1

1. Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and generally accepted practices.
2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

APPLICATION FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

Article 2

1. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
 - (1) Name of the Guest(s);
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
 - (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1); and
 - (4) Other particulars deemed necessary the Hotel.
2. In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph(2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

CONCLUSION OF ACCOMMODATION CONTRACTS, ETC.

Article 3

1. A Contract for Accommodation shall be deemed concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

SPECIAL CONTRACTS REQUIRING NO ACCOMMODATION DEPOSIT

Article 4

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph 2 of the preceding Article or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

REFUSAL OF ACCOMMODATION CONTRACTS

Article 5

1. The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:
 - (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
 - (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;

- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;
- (4) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;
- (5) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation;
- (6) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, disfunction of the facilities or other unavoidable causes;

RIGHT TO CANCEL ACCOMMODATION CONTRACTS BY THE GUEST

Article 6

1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.
2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No.2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
3. In the case when the Guest does not appear by 8 p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

RIGHT TO CANCEL ACCOMMODATION CONTRACTS BY THE HOTEL

Article 7

1. The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases:
 - (1) When the Guest is deemed liable to conduct or have conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to his accommodation;
 - (2) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease;
 - (3) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation;
 - (4) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities or other causes of force majeure;
 - (5) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, mischief to the fire-fighting facilities and other prohibitions of the Use Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires).
2. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.

REGISTRATION

Article 8

1. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation;
 - (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s);
 - (2) Except Japanese, nationality, passport number, port and date of entry in Japan;
 - (3) Date and estimated time of departure; and
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as travelers cheques, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

OCCUPANCY HOURS OF GUEST ROOMS

Article 9

1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3 p.m. to 10 a.m. the next morning. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:

- (1) Untill 12 : 00p.m. 10% of the room charge
- (2) Untill 13 : 00p.m. 20% of the room charge
- (3) Untill 14 : 00p.m. 30% of the room charge
- (4) After 14 : 00p.m. room charge in full

OBSERVANCE OF USE REGULATIONS

Article 10

1. The Guest shall observe the Use Regulation established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

BUSINESS HOURS

Article 11

1. The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place, service directories in guest rooms and others.
 - (1) Service hours of front desk, cashier's desk, etc.
A Front service 24 Hours
 - (2) Service hours (at facilities) for Restaurant.
A RESTAURANT "PORTO FINO" Breakfast 7:00~9:30
 - (3) PARKING 8:00~22:00
2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

PAYMENT OF ACCOMMODATION CHARGES

Article 12

1. The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table No.1.
2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's cheques, coupon or credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon request by the Hotel.
3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him by the Hotel and are at his disposal.

LIABILITIES OF THE HOTEL

Article 13

1. The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract or related agreements. However, the same shall not apply in case where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.
2. Even though the Hotel has received the "PASSMARK" (Certificate of excellence of Fire Prevention Standard issued by the fire station), furthermore, the Hotel is covered by the Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and other disasters.

HANDLING WHEN UNABLE TO PROVIDE CONTRACTED ROOMS

Article 14

1. The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.
2. When arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the

Guest.

HANDLING OF DEPOSITED ARTICLES

Article 15

1. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure.
2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk.

CUSTODY OF BAGGAGE AND BELONGING OF THE GUEST

Article 16

1. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check-in.
2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his checkout, and the ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by the owner of when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
3. The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provision of Paragraph 1 of the Preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

LIABILITY IN REGARD TO PARKING

Article 17

1. The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard the management of the parking lot.

LIABILITY OF THE GUEST

Article 18

1. The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Attached Table No.1

The breakdown of the Accommodation charges, etc.
(Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

Contents	Total Amount be paid by the Guest		
	Accommodation Charges	Extra Charges	Tax
1 Basic Accommodation Charges (Room Charge)	2 Meals & Drinks Charge. 3 etc	a. Consumption Tax.	

Remarks of Attached Table No.1

1. Basic Accommodation Charge is informed by the Tariff in the Front Office.
2. If the total bill, including attendant breakfast and dinner, upon accommodation, (1) will be meant to read (room charge plus breakfast.)

Attached Table No.2

Cancellation Charge (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Date when Cancellation of Contract is notified	Contracted Number of Guests	
	individual	Group
	1 to 14	15 and more
No Show	100%	100%
Accommodation Day	80%	80%
1 Day Prior to Accommodation Day	50%	50%
14 Days Prior to Accommodation Day		20%

Remarks:

1. The percentage signifies the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
2. When the number of days contracted is shortened, cancellation charge for its first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
3. When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled, the cancellation charge shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 15 days prior to the occupancy (When accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date) with fractions as a whole number.

Under Article 10 of the above mentioned Japanese law, This HOTEL is obligated to clarify and ask observance of the following accommodation provisions;

1. Guest rooms may not be used for cooking, ironing or heating.
2. Smoking in the bed or in other places where fire is apt to occur is prohibited.
3. Visitors are not permitted in guest rooms after 10:00 p.m.
4. The following articles may not be brought into the Hotel:
 - a) Animals, birds, etc.
 - b) Article with offensive odors.
 - c) Gasoline, explosives, inflammable items or dangerous chemicals.
 - d) Illegally owned guns and swords.
 - e) Excessively bulky objects.
5. Creating a disturbance which annoys other guests and gambling are not permitted in the Hotel.
6. Guest rooms and lobby may not be used as offices or for commercial activities without the consent of the management.
7. Altering or rearranging guest room fixtures without permission is prohibited.
8. Rules Regarding Equipment and Fixtures on the Premises are as follows:
 - a) Refrain from using equipment and fixtures for purposes other than intended.
 - b) Please do not take equipment of fixtures out of the Hotel.
 - c) Removal or alteration of equipment or fixtures is prohibited.
9. Personal belongings may not be left in the lobby or in hallways.
10. Distributing advertising materials to other guests in the Hotel is not permitted.
11. Meals or drinks may not be brought in from establishments outside the Hotel.
12. Except in case of emergency or in unavoidable circumstances, entering employees-only and maintenance facilities is prohibited.
13. A yukata and slippers have been provided for your use in your guest room. Refrain from going out of your room in yukata or slippers.
14. Minors are not permitted to stay at the Hotel without parental or guardian consent.
15. The management reserves the right to hold guests responsible for damages, contamination or loss caused to any part of the building, its furniture or fixtures.
16. Unclaimed guest belongings will be held at the following facilities for the time indicated:

Front desk	1 month
Laundry	6 month
17. Guest accounts with Hotel are to be settled on five days basis, or in accordance with predetermined arrangements.
18. The Hotel or facilities there of are not permitted to cash or accept personal checks.
19. The Hotel will not make payment on behalf of guest for such expenses as shopping charge, tickets, taxi fares, postage or porter charges.

浦安ビューフォートホテルの安全性について

当ホテルの建物は、全館に非常放送設備、自動消火装置、煙感知器、防火扉など防災設備が完備しており、浦安市消防本部から防火基準適合マーク（適マーク）が交付されています。

万一、火災が発生した場合には、スプリンクラーが自動的に作動し延焼を防止するとともに、発生場所が直ちに防災センターに表示され、24時間体制の保安係員とホテル従業員が初期消火ならびにお客様の避難誘導にあたります。

また地震に対しましては、関東大震災クラスの地震でも十分耐えられる構造に設計されており、建物倒壊の危険はありません。

In the event of a fire, the building sprinkler system will be activated automatically to help prevent its spread. At the same time, the Building Control Center will be automatically notified. Our own fire brigade, on duty 24 hours a day, will then rush to the site of fight the fire.

In the event of an earthquake, it is important to remember to stay calm. This hotel was built to meet Tokyo's strict earthquake building codes and is capable of withstanding the shock of the Great Kanto Earthquake of 1923, the largest earthquake in the Tokyo area in the past 100 years. Remember, your danger is almost always less than you might imagine it to be.

お部屋にお着きになりましたら

入り口ドア内側の緊急避難図で、非常口を2ヶ所以上確認してください。

懐中電灯は、ナイトテーブルの内側にあります。あらかじめ確認してください。

お体の不自由な方は、その旨フロントへお申し出ください。

寝たばこの禁止をお守りください。

When you Arrive Look Around

Learn where the exits are. Check the map in your room, and then look to the right and left of your door, locate at least two exits. Then choose a wall, and as you walk to each exit count the number of doors along that wall between your room and the exit. This will help you to remember the distance and location of the exits, and may also help you to find an exit should the hall be dark or smoky.

There is a flashlight in your room night table. Find it and check to see if it works.

Please let the Front Desk know if you are physically handicapped.

